



ほうらい

教育目標

- かしこく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校
令和5年 6月21日
第12号 文責：亀丸

沿岸被災地を訪れました

9日・10日の2日間、6年生は修学旅行に行ってきました。見学地は釜石市、山田町、宮古市、岩泉町で、宿泊地は田野畑村でした。今年度も沿岸被災地を訪ね、震災・復興について深い学びをしてきました。2日間ずっと雨でした。そのために貝塚の見学や乗船体験をすることができませんでした。しかし、ポジティブ思考集団の6年生は、2日間天候を少しも気にすることなく、真剣に学び、思いっきり楽しみました。

1日目は釜石市と宮古市を訪れ、田野畑村に宿泊しました。釜石市では「釜石鶴住居復興スタジアム」の見学をしました。ラグビーワールドカップ開催を実現した市民の熱い思いと努力を学びました。



その後、「鶴住居トモス」で、震災時釜石東中学校の生徒だった川崎杏樹さんから、避難の時の様子や心情についてお話していただき、防災の大切さについて学びました。体験者のお話には重みがあります。子ども達は食い入るように杏樹さんのお話を聞いていました。雨の中でしたが慰霊碑に献花もしました。



宮古に移動し、震災で工場を失い、一から再建した「丸徳さん」で、ちくわとさつま揚げづくりを体験しました。「焼き立てのちくわってこんなにおいしいの。」そんな言葉が子ども達から聞かれました。アツアツのちくわやさつま揚げを頬張りました。



「崎山貝塚縄文の森ミュージアム」では、縄文人の暮らしについて学びました。あいにくの雨で貝塚に行くことはできませんでしたが、石器や土器などの出土品や、食料としていた動物の骨、埋葬された人骨など貴重な展示品をゆっくり見学しました。



田野畑村のホテル羅賀荘に宿泊しました。楽しい夕食の後は、震災を体験した仲居さんから貴重なお話を聞くことができました。食い入るように聞く子ども達でした。その後は入浴・就寝と仲間と楽しいひと時を過ごしました。夜中は静かに寝ていた(?)ようです。朝の身支度や布団の整理もしっかりできました。



2日目。まずは、龍泉洞を見学しました。神秘の地底湖に魅了された子ども達。270段の急な階段を上ったり下りたりしながら、美しい地底湖の水や鍾乳石の岩肌に感動していました。自然の驚異にただただ驚く子ども達でした。10℃から12℃ととにかく涼しい(寒い)洞内でした。帰校後昼の放送のインタビューでは、龍泉洞が美しかったという子ども達が多かったです。



「道の駅・みなとオアシスみやこ」にあるシートピアなあなどでお土産を買いました。すでに2,000円分のクーポン券をいただいていたので、その分は宿泊したホテルで三陸の名産品を準備してもらっていました。ここではお小遣い3,000円で自分や家族へのお土産を買いました。

赤べこをモチーフにしたキャラクターのご当地もののガチャガチャが結構人気でした。昼食はカレーでした。大人用のような盛りのよさでしたが、結構しっかり食べていました。海に浮かぶたくさんのヨットを見ました。



昼食後は山田町の織笠漁港に行きました。乗船体験をすることができませんでした。また、予定していたホタテの殻むきは貝毒のためできませんでした。ですが、カキの殻をきれいにする作業をして、カキとシュウリ貝をいただきました。中にはカキを5つ食べた子もいました。津波の恐ろしさだけではなく、海はそこに生息する動物の命を育んだり、私達に多くの恵みをもたらしたりすることも学習することができました。

乗船体験ができなかった分、鯨と海の科学館に行き、鯨の不思議な生態と日本の捕鯨の歴史について学びました。この施設も津波で大きな被害を受けましたが、今では素晴らしい展示がなされています。



保護者の皆様には、旅行の事前準備、お子様の体調管理等たくさんご協力いただきました。このように充実した修学旅行を実施することができ、かつ全員元気に帰校することができましたことに感謝いたします。ありがとうございました。今回の旅行で学んできたことをしっかりとまとめ、5年生や保護者の皆様等に自身の学びを発信することをとても楽しみにしています。